施設環境委員会・文化教育委員会合同イベント

令和３年 12 月 10 日(金)実施

修猷館高校 PTA の活動は、昨年からの COVID-19 感染の拡大により活動を自粛せざるを得ない状況でしたが、ようやく動き出せる兆しが見えたところで、二つの委員会が従来行ってきた企画を一日で行うこととしました。12/10（金）お天気にも恵まれて役員・各委員から参加者 33 人が集まり、感染症対策を取りながら行われたイベントのご報告をいたします。

学食試食会

食堂の運営会社「はたなか」にご協力いただき、参加者には事前に４種類のメニューから注文を聞き取り、テイクアウト丼で提供していただきました。どれも美味しいと参加者の評判もよく、お家からのお弁当率が高い我が校ですが、週に１度は利用してみては？食堂では部活動の「食トレ」も行っていて、生徒の栄養と体力の支えになっていただいています。保護者も利用できます。

「はたなか」の皆さま

ピリ辛から揚げ丼

本日のメニュー

- ピリ辛から揚げ丼
- カツ丼
- チキン南蛮丼
- ロコモコ丼
  (当日限定)

中本様講演会　～伝統・修猷大運動会について～

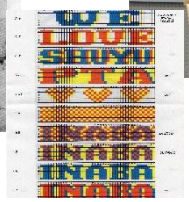
昨年から保護者は修猷館高校の伝統である大運動会を見ることが出来ない状況にありました。そこで、我が校の卒業生であり、お子様の在学中も PTA 会長２回、現在は同窓会本部事務局長、修猷協会理事と修猷館高校の事を知り尽くしていらっしゃる中本純徳様をお招きし、大運動会についてお話していただきました。

男子生徒の花形競技「タンブリング」での七ピラと単七の違い、単七はいったいどこが凄いのか！最も選ばれし精鋭はどの位置なのか、今の七ピラとの違いなど、見ただけでは分からない奥深さがありました。

全生徒参加競技「応コン(応援コンテスト)」は、ご自身とお子様が使っていたパネルとスクラップをご持参いただき、パネルの構造とその歴史や、スクラップの構成の仕方や注目点など、とてもマニアックな内容でした。

DVD で過去の運動会のタンブリングや応コンの様子をみて、その説明を聞くことで体感でき、これからの運動会の見方が変わるとともに、我が子が情熱を傾け練習や準備に頑張る姿に理解が深まる講演会となりました。

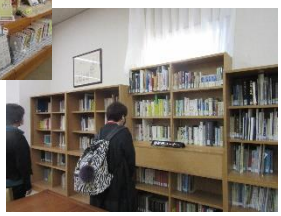
大運動会の注目ポイントを語る中本様



菁莪記念館１階　視聴覚室にて

図書館見学

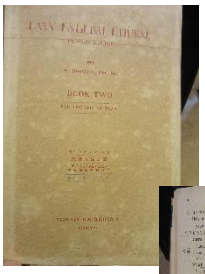
図書館司書の先生にお話を伺いました。普段から生徒の利用は多く、授業でも調べ学習として利用されています。年間約２２００冊の本が入り、ジャンルも幅広く難しい知的好奇心をくすぐるような本も人気とのこと。生徒たちは先生方から面白かった本の情報が入るとすぐに図書館にやってきて、順番待ちになることも。歴史のある本校の関連書や、本校出身者の伝記や著作物の「修猷館コーナー」があります。地下にも書庫があり、福岡県下の公立高校で随一の蔵書数を誇るとのことです。

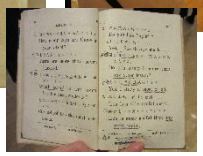


修猷資料館見学

担当の先生に館内をご案内いただきながら、とても貴重な所蔵品とともに、修猷館高校の歴史と関わった偉人たちをマニアックな解説でお話していただきました。黒田藩の藩校からの成り立ちは勿論のこと、多くの偉人を誕生させた、修猷館高校の歴史の奥深さを教えていただきました。明治 22 年に英語教育を取り入れ、海外で活躍できる学生を輩出したことや、オリンピックイヤーの今年に相応しい五輪旗の物語もここでしか聞けないお話です。卒業生には著名な芸術家も多く、その作品が展示しきれないほど。多くの作品が倉庫に眠っています。今回の見学で、日本の歴史の中の修猷館を実感できました。

初代館長・隈本有尚は夏目漱石の師であり
「坊ちゃん」の山嵐のモデルといわれている





部活動見学

部活動の様子を担当の先生にご案内いただきながら見せていただきました。昨年完成した人工芝に足を踏み入れ、その感触と生徒たちが安全に運動を思いきり出来る環境にある事を実感できました。体育館１階で卓球部、柔道部、剣道部の活動の様子を見て、弓道場の施設へ。新聞部など文化部の部室通路を通り、華道部の活動見学へ。部活動の一部ではありますが、生徒たちが真剣に生き生きと活動する様子を見ることが出来ました。最後は菁莪記念館３階にて吹奏楽部が演奏会を開いてくださり、演奏終了後感動の余韻に浸りながらイベント終了となりました。

三月の定演が楽しみ

文責　総務広報委員長